

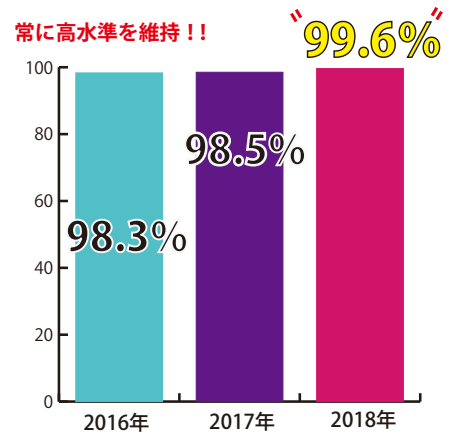


就職力

社会で活躍できる学生を育て
学生の多様な希望進路を叶える
ことができる環境が整っています

圧倒的な
「高い就職率」 **99.6%**

業種別では、経済学部専門性を活かして金融・保険業及び公務員に就職する人は41.0%(公務員へは21.9%)です。規模別では、大企業及び公務員に就職する人が55.0%と過半数を占め、また地元中四国の企業への就職率も67.3%となっています。(2018年度)



主な就職先

【金融・保険業】

日本銀行/三井住友銀行/みずほフィナンシャルグループ/りそな銀行/東京海上日動火災保険/損保ジャパン日本興亜/日本生命保険/野村證券/百十四銀行/香川銀行/中国銀行など

【公務員】

経済産業省/国土交通省/国税専門官/公正取引委員会/香川県庁/岡山県庁/高松市役所/岡山市役所/香川県警など

【製造業・卸売業・小売業】

パナソニック/日立製作所/三菱電機/麒麟麦酒/ハウス食品/JT/大塚製薬/アシックス/オムロン/ボッシュ/オンワード樺山/三越/GU/富士ゼロックス/サンワサプライ/京都きもの友禅など

【その他】

NTT西日本/NTTドコモ/JR四国/JR西日本/四国電力/中国電力/オリエンタルランド/JTB中国四国/日本旅行/H.I.S.など



サポート体制の充実

●在生だからできるサポート

企業と学生を結ぶ組織「経済学部ゼミナル連合協議会(通称:ゼミ連)」や内定をもらった先輩が就職活動の手助けをする「BEST」など学生主体の組織が、様々な企画を通じて就職に関するスキルアップをサポートします。ゼミ連の就職支援は多岐にわたり、学生組織が主体的に100社に及ぶ企業を集めて就職支援を行うのは西日本では唯一となります。

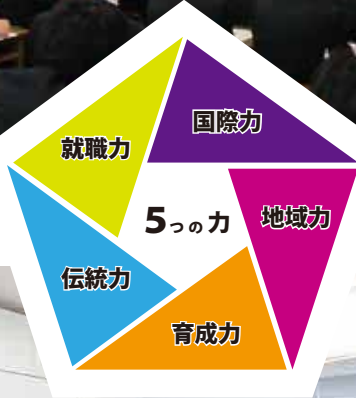
●専門スタッフによるサポート

キャリアカウンセラーへの個別相談などができるキャリア支援センターはもちろん、公務員を目指す学生には「公務員対策講座」などを開講しています。

●OB・OGとの繋がり

96年の歴史がある経済学部には各業界で活躍されている先輩方がたくさんおられます。その方々に直接会ってお話しできる機会もあります。

香川大学経済学部



5つの力



育成力

「育成力」

||

「社会で活躍できる学生を育てる仕組み」



少人数制教育

●教員1人に対して学生4~5人

経済学部では、少人数制教育すなわちゼミナル活動を最重要視しています。4年間、きめ細かな指導を受けることができます。



実践的な学び

●経済学の応用力・実践力を培う

アクティブラーニング、フィールドワーク科目、インターンシップ、海外研修・留学、プロジェクト活動などを通じて、複眼的思考力や課題探究・解決力、コミュニケーション能力を養います。

1学科5コース制

●幅広い教育・研究分野

「国際的な視野を備えた、地域活性化を担う人材育成」を目指して、グローバル化や地域創生のニーズに対応する教育・研究を強化しています。

1~2年次で経済学・経営学を含む5領域の専門基礎を柔軟に学修します。2年次後期から、5コース(経済・政策分析コース、会計・ファイナンスコース、経営・イノベーションコース、観光・地域振興コース、グローバル社会経済コース)のうち、いずれかのコースに所属し、多角的に専門知識を修得していきます。

学生チャレンジプロジェクト

●学生の「やりたい!」を実現できる場所

通称「学チャレ」とは、「経済や経営に関する専門知識を活かして国内外で活躍できる人材を育成する」という経済学部の教育目的の実現のために、学生の主体的な取り組みを支援している制度です。2018年度は以下の15件のプロジェクトが採択され、その多くがメディアに取り上げられています。

1. 和文おもてなしプロジェクト in Kagawa
2. 香川スイーツ巡検サイト作成プロジェクト
3. トクモトアンス復活プロジェクト
4. 地域の魅力再発見! 親子省エネエコツアー
5. 地元再発見の旅プロジェクト またたび
6. HATA Paper
7. カマタマール講座との共同イベント
8. BGPの恩返し! ~高松盆栽の魅力発信~
9. 復活! 観光ボランティアガイド in 直島
10. ぶらり坂出歩きツアー
11. なえどこきかけプロジェクト
12. 伝統工芸 讃岐提灯を活用して香川の魅力を照らすプロジェクト (TERASU)
13. 鳥唄プロジェクト~歌で地域を盛り上げよう~
14. 伊吹島の良さ発信プロジェクト
15. JCFES ~愛があふれる音楽祭~



●参加者の声

2013年に引き続き、地元プロサッカーチームの観客動員数増加のために、香川県庁や他大学の学生、県内5校の高校生などと共に「かまたまつり2014」というイベントを開催しました。今回は6つの新企画を考案し、予算交渉や企画内容の話し合いで、大きな壁がいくつもありませんでしたが、全員で考え、粘り強く取り組んだ結果、当日は平均観客数を1,000人上回る4,300人を動員できました。仲間と一緒に最高の充実感を感じ、また、自分たちの新たな課題にも気づけた、心に残る経験となりました。



福田 晋太郎さん
(2015年3月号)
(東京海上日動火災保険)



地域力

「地域力」

||

「瀬戸内地域全体が
学びのキャンパス」

瀬戸内地域全体が 学びのフィールド

●海・山・街に囲まれた香川県

瀬戸内地域全体が大きなキャンパスとして用意されています。地元香川県などの人々と共に問題を共有し、解決策を探り、実際に地域活性化に関わることができます。

また、香川県は高松市を中心に、全国企業の支店が数多く集まる「支店経済の街」であり、様々な業界の企業との連携も容易に行うことができます。



●直島地域活性化プロジェクト

瀬戸内海に浮かぶ直島で、学生主体のカフェ「和cafe ぐう」の経営を中心に取り組んでいます。カフェの営業にとどまらず、フェアトレード商品を販売したり、コンポストを使った生ごみの堆肥化など、エコ活動にも取り組んでいます。

●地元再発見の旅プロジェクト (またたび)

香川県の観光資源・食・地場産業などを地元の方々が発信することで、地元の隠れた魅力を再発見してもらい、地域活性化に繋げることが目的のプロジェクトです。地元旅行会社と連携して、バスツアーの企画・添乗を行っています。

学費の安さ・ 生活のしやすさ

●年間 535,800 円

私立大学に比べて学費が安いことも魅力の1つ。奨学金制度も充実しているので、安心して勉強することができます。

●晴れの日が多く、災害が少ない

日本一長い商店街を有し、どこに行くにも自転車か公共交通機関(バス・電車)でアクセスができ、利便性が非常に高く、住みやすい環境です。

	香川大学 経済学部		私立大学 (平均) ※1
	香川県出身	岡山県出身	
学費 (入学料・授業料など)	4年間 (入学料 + 授業料) =2,425,200 円		4年間 (入学料 + 授業料 + 施設整備費など) =4,577,578 円
生活費	自宅から通えば… 0 円 (交通費がかかる場合も)	マリナーライナーで通学すれば… 19,690 円 (月)	高松で生活する場合の家賃 4年間 2,400,000 円 (平均) その他、光熱費・食費・交通費などがかります。

※1 平成29年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査(文部科学省)より



伝統力

「伝統力」

||

「社会とのつながりの強さ」

96年の伝統

●創立96年の不変のスピリット

1923年(大正13年)に、日本で12番目の「官立高等商業学校」として創立。実業を重んじる校風は今日まで受け継がれ、地域社会の様々な分野でリーダーとして活躍できる人材を輩出しています。2018年に95周年を迎えました。



卒業生が 26,000人以上

●卒業生の中に元総理大臣も

経済界をはじめとする各界で活躍し、高い評価を受けています。

大平正芳第68・69代内閣総理大臣は、現在の香川県観音寺市に生まれ、経済学部の前身である高松高等商業学校を卒業しました。大平元総理をはじめとして、経済学部のOB・OGには政財官界で活躍する方がたくさんいます。

又信会 (ゆうしんかい)

●強固な同窓会組織

卒業生同士の親睦を深める目的で設立された又信会。日本全国に支部があり、日本はもちろん世界中の様々な分野で活躍している先輩方と交流する機会があります。

「就職活動でも役に立った」という声や「様々な分野の方とのネットワークができ、仕事の幅が広がった」などの声が多く聞かれます。

【活躍する著名な卒業生】

(令和元年5月末現在)

大平 正芳	第68・69代内閣総理大臣	福田 啓二	(前) 駐スロベニア大使
岡内 英夫	(元) 資生堂 社長・会長	井東 洋司	タカラスタンダード株式会社 代表取締役副社長
笠井 和彦	(元) 福岡ソフトバンクホークス球団 社長兼オーナー代行、ソフトバンク本社 取締役	畑 佳秀	日本ハム株式会社 代表取締役社長
綾田 修作	(元) 百十四銀行 頭取・会長	下村 正治	(前) 香川銀行 代表取締役頭取
白川 輝行	(元) 東京海上日動火災 代表取締役副社長	青山 肇	中国銀行 代表取締役・専務取締役
岩田 直樹	一条工務店 代表取締役社長 (元) リソな銀行 代表取締役社長	松田 正己	山陽新聞社 代表取締役社長
福家 康宣	(前) 福島放送 代表取締役社長	加藤 昭彦	高松市 副市長
天雲 一裕	(前) 株式会社クラレ 取締役常務執行役員	辻村 武	(前) 高松三越 代表取締役社長



国際力

「国際力」

||

「国際感覚を養う制度の充実」

短期研修

●海外研修

経済学部の教員が引率する形で、協定校などを1週間から2週間程度の期間訪問し、語学研修や異文化交流プログラムに参加します。

経済学部では、「アメリカ」「ドイツ」「フランス」「台湾」「韓国」「中国」から選択します。

●短期語学研修

学術国際交流協定を締結している海外の大学又は、継続して派遣実績のある大学で、主に語学の習得を行うための研修です。



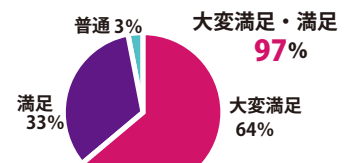
●参加者の声

現地の学生とのコミュニケーションを取ることの難しさに直面し、改めて語学の重要性を感じました。帰国後は中国語の勉強に対する意欲が増えましたし、海外に友人ができたことも良かったですね。



石川 諒さん
(2016年3月卒)
(全労済)

●海外研修の満足度は？



(2017年度調べ)

ほとんどの学生が海外研修に対して「満足」している結果になっています。また帰国後、外国語への勉強のモチベーションが上がるなど、海外研修に行く前と後では、かなりの変化があります。

長期留学

●海外派遣留学

学術国際交流協定を締結している海外の大学に、1年間以内の1学期又は、複数学期の間、大学に在籍したまま、協定校にて科目履修又は研究指導などの教育の機会を得る研修制度です。

●ネクストプログラム

語学力向上のための特別学習や海外留学を通じて、グローバル化が進む地域社会の課題解決に貢献できる人材の育成を目指すプログラムです。大学が指定した海外の大学に原則として1年間留学します。



●参加者の声

1年間の留学は旅行者ではなく、「住民」としてその国を知る絶好のチャンス。異文化交流を通じて、相手の価値観を受け入れる大切さ学びました。留学は、日本を客観的に見ることができた貴重な体験だと思っています。



松本 愛さん
(2014年3月卒)
(四電ビジネス)

充実のサポート体制

●奨学金制度の充実

様々な奨学金制度をご用意しており、海外で学びたいという学生の期待に応えられるようにサポートしています。また、経済学部では、経済学部後援会(経信会)からの補助(奨励金)もあります。

●留学生の受け入れ

毎年ドイツ、中国、台湾などから10名程度の留学生の受け入れも行っていきます。

●グローバルカフェの設置

日本人の学生や留学生などが集まって相互に楽しみながらコミュニケーションスキルを学んでいます。

